

中学校卒業後の進路に関する情報提供



杉並区教育委員会事務局 多様な学び支援課



令和8年5月発行

「中学生」という時期

- 標準服(制服)の使用でボタンの多い服、スカートやズボンの着用、ベルトの使用など大人の準備が始まる時期です。
- 通学時の交通機関の利用や余暇活動での外出など自分で判断して行動する機会が増えます。
- 思春期になり、自己主張が強くなり体力もついてきます。外での活動を広げ、さまざまなことを学ぶ時期です。
- 中学校の3年間+上級学校での3年間=6年間で将来について考える大切な時期です。(「現場実習」というプログラムがあります。)
- 中学校の3年間という短い期間の中で進路選択が求められます。

中学校特別支援学級・済美養護学校中学部の教育

中学校特別支援学級の目標

- 将来自立した社会生活や職業生活を送れるような学習を実施する。
- 教科の基礎的・基本的な知識や技能が実生活に生かされるように指導する。
- 作業学習を通して仕事に対する態度や用具を操作する力を育てる。
- 小学校時代に身につけた生活面の力を発展させ将来の自立にむけて備える。

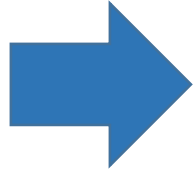
済美養護学校中学部の目標

- 健やかな体と自立心を育てる。
- 社会生活に必要な力を育成する。
- 基本的な生活習慣の確立を目指す。
- 豊かな人間関係を広げる力を育てる。
- 社会の一員として働く意欲を育てる。

中学校卒業後の進路

中学校

* 特別支援教室利用含む
通常の学級



上級学校

高等学校

全日制

学年制 単位制 普通科 専門学科(工業・商業など) 総合学科
エンカレッジスクール

定時制

夜間(学年制・単位制)
昼夜間(単位制) チャレンジスクール
普通科 専門学科(工業・商業など) 総合学科

通信制

(広域)通信制 (狭域)通信制

高等専修学校

様々な職業教育 技能連携制度(高等学校卒業資格)

各種学校

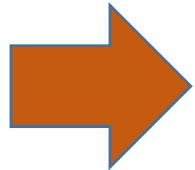
サポート校 (通信制高等学校の学習を登校してサポート)

特別支援学校
普通科
職能開発科
就業技術科

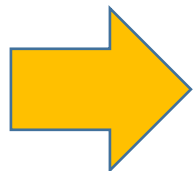
愛の手帳か医師の診断書が必要

職能開発科と就業技術科は選抜試験がある

特別支援学級



特別支援学校
中学部



東京都教育委員会のホームページから各都立学校の検索
ができます。

[東京都教育委員会トップページ](#) > [都立高校等検索](#) > [条件検索・キーワード検索](#)

*条件検索(所在地、課程、学科、制服、部活動などを選択)やフリーワード検索をすると、該当する学校
が表示されます。

ここでは、都立学校の各課程・学科の概要を紹介します。

全日制高等学校（修業年限3年）

【都立学校の場合】

- 学年制:1年で取得する単位数が定められている。
定められた単位を1年で取得し進級となる。
富士 豊多摩 杉並など150校
エンカレッジスクール(指定校)
東村山 練馬工科 中野工科など(普通科4校、工業科2校)
基礎的、基本的な勉強から学び直したい。登校実績が不登校でない生徒対象。
- 単位制:必修科目の他に、自分に適した教科・科目が多い。
卒業までに必要単位を取得する。
新宿 芦花 上水など23校
- 学科について 普通科（普通教育を中心に学習）
専門学科(工業・商業など)
総合学科(普通教育と専門教育を行う)



定時制高等学校 修業年限は4年(三修制のある学校は3年で卒業可)

【都立学校の場合】

- ・夜間:夕方から夜にかけて授業を受け学習する。

(学年制)学習する教科・科目が学年ごとに定められている。

工芸 松原 中野工科 農芸など

(単位制)必修科目の他に、自分に適した教科・科目を選択することができる。

飛鳥 板橋有徳 など

- ・昼夜間制

(単位制):午前(1部)、午後(2部)、夜間(3部)の中から自分の所属する部を選び、各時間帯の授業を受ける。他の部の授業や自分で選択できる教科・科目が多い。

荻窪 一橋 新宿山吹など

チャレンジスクール(指定校) 稔ヶ丘 世田谷泉 六本木 大江戸など

不登校や高校中退者の経験があるなど、これまでの能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒がもう一度チャレンジするための学校。選抜試験は面接と作文のみで実施される。

通信制高等学校：(狭域)通信制

【都立学校の場合】

月2日程度定められた日に登校し、通学して授業(スクーリング)を受ける。

(修業年限3年)

一橋 新宿山吹 砂川の3校

狭域通信制高校があるその都道府県で生徒を募集する学校。

スクーリング会場に限られる。



都立特別支援学校高等部(知的障害)

知的障害特別支援学校は、愛の手帳所持または医師の診断書(知的障害の有無)が入学要件として必要。

・普通科:希望する場合、入学相談を経て入学となる。通学区域あり。

杉並区は中野特別支援学校。ただし、早稲田通り北側(井草、上井草、下井草、阿佐谷北六)は練馬特別支援学校が通学区域。

・職能開発科:選抜試験あり。少人数(学年10名)で企業就労を目指す。

練馬特別支援学校 港特別支援学校 江東特別支援学校 など

・就業技術科:選抜試験あり。学校全体で企業就労を目指す。

永福学園 南大沢学園 志村学園 水元小合学園 など

※職能開発科、就業技術科の入学者選考日程は、普通科よりも早い時期に行われます。

以下の学校には、都立学校はありません。各学校の案内や入学手続きなど、情報収集はインターネット検索や直接学校へ資料請求をする方法等があります。

通信制高等学校：(広域)通信制

3つ以上の都道府県から生徒を募集(修業年限3年)

多様な学び方 ・インターネットを活用して学習し、レポートを提出。

・通学コースは、週複数回、近隣の学習会場で学習。

○東京都の学費助成制度の対象の学校もあります。

高等専修学校

中学校卒業生対象に実務にウエイトをおいた教育を実施。

技能連携制度があり通信制高等学校との併修で高校卒業資格を得ることができる。

(修業年限3年) 情報、調理、美容などの学科がある。

サポート校

通信制高等学校の学習をサポートする学校(通学スタイルがあるもの3年で卒業(通信制高等学校卒業資格)となる。



中学校卒業後の進路を決めるにあたって

- 担任の先生と十分に相談を行い双方で進路先について了解する。
- 学校見学は、学校によって見学時期や見学可能な学年が異なる。都立学校の場合は、夏休みの時期と秋開催があり、夏休み時期の方で見学するなど、早めに見学し、情報を得る。近年、3学年にこだわらず見学できる高校が増えている。
- 「入れる学校」ではなく、「卒業できる学校」を選択する。
- 中学校の3年間(前半)と上級学校の3年間(後半)の6年間でどんな力を身につけていくのかを考える。
- 「選抜試験による受験」が必要な場合は、中学校との連携、家庭の協力が強く求められる。
- 進学先は本人が「自分で決めた」という意識が持てるように上手に導く。